

土木技術者のためのプロフェッショナルの姿勢と視点

正誤表

No.	頁	行	誤	正
1	p.7	断面図	ふとん籠工の寸法:A=1.0×0.6 A=1.0×1.0	A=1.0m×0.6m A=1.0m×1.0m (著者加筆)
2	p.16	図 I 2.3	*左端の枠内が空欄	調査・計画
3	p.21	下2、4行目	提案技術	技術提案
4	p.32	参考文献 1)、2)、3)、4)	(公益社団法人)	(公社)
5	p.37	11行目	防げるからである	防げるのである
6	p.59	7行目	土木系学科の・・・1年生でも、	建築系学科の・・・1年生では、
7		本文下4行目	期待したことは、	期待したとすれば、
8	p.64	本文下4行目	である。	でもある。
9	p.66	表 I 9.1	(益社) 土木学会	(公社) 土木学会
10			(益社) 日本コンクリート工学会	(公社) 日本コンクリート工学会
11	p.71	下2行目	技術士会	日本技術士会
12	p.73	11行目	魅力を引く	関心を引く
13	p.74	本文下3行目	学生自らの	学生あるいは社会人として、自らの
14		参考文献	1)、4)、5) (公益社団法人) 2) (一般社団法人)	1)、4)、5) (公社) 2) (一社)
15	p.87	下1行目	「デザイン無くして、建築なし。」と言われるようであるが、	「美しくなければ、建築ではない。」と言われるのに対して、
16	p.95	下4行目	社会基盤インフラ	社会基盤施設
17	p.103	1行目	マネージャー(管理)・・・マネージャー(広義)	マネージャー(管理:広義)・・・マネージャー(管理:広義)
18		5行目	マネージャー(狭義)、プランナー	マネージャー(管理:狭義)、プランナー
19		7)	(公益社団法人)	(公社)

No.	頁	行	誤	正
20	p.114	5、6行目	性能5・・・性能2~4・・・危険度A・・・	性能5、4・・・性能3、2・・・危険度A、 B・・・
21	p.127	13)、16)	(公益社団法人)	(公社)
22	p.128	下5、6行目	直線 (真ん中の2本の実線)	2本の直線 (赤色)
23	p.129	7行目	上限 (破線)	上限の直線 (青色)
24		式II 2.2.3	$\leq 1.5\text{mm}$	$\leq 2.0\text{mm}$
25	p.142	2行目	機能喪失リスク	性能喪失リスク
26	p.154	下8行目	実行可能レベルとして、実行が	実現可能レベルとして、実現が
27		下2行目	②実行不可能	②実現の不可能
28	p.155	下2行目	Y字状の静穏域	Y字状の中の静穏域
29	p.187	2、6行目	せん断応力 $L$	せん断応力比 $L$
30	p.223	表3 *3	石罪擁壁	石積擁壁
31	奥付	奥付	(一財) 国土開発技術研究センター	(財) 国土開発技術研究センター
32	奥付	奥付	(一財) 日本建設情報総合センター	(財) 日本建設情報総合センター